

平成28年度第3回苫小牧市学校給食共同調理場運営審議会議事録

平成28年6月30日（木）15:00～16:00

市役所第2庁舎2階北会議室

（司会）

定刻になりましたので、ただ今から平成28年度第3回学校給食共同調理場運営審議会を開催致します。

それでは、松浦教育部長よりご挨拶を申し上げます。

（松浦部長）

皆様、こんにちは。

これまで3回の運営審議会にお集まり、ご審議をいただきまして誠に有難うございました。

本日は私共で行った諮問に対する答申内容につきまして最終的な案をまとめていただき、叶えば、教育長に対して答申をしていただくことを考えております。

事務局の方から最終的な起草部会で練っていただいた答申内容につきまして、更にご審議をいただきまして、修正がもしあれば修正を加えた上で、教育長に答申していただくというような予定で考えております。

これまでの審議が足りないようなところがありましたら、付け足していただいたりするなど加筆の必要性もあるかもしれませんが、最終的には答申ができるように何とかご協力をいただけます様、お願い致します。

（司会）

ありがとうございました。

本日の審議会は現時点で委員12名中、8名の出席となっておりますので、学校給食共同調理場規則第7条第4項に基づき本日の会議が成立していることをご報告致します。

それではこれからの議事進行は木村会長にお願い致します。

（会長）

皆さんこんにちは。

運営審議会に入ります前に、本日の会議の進め方でございます。

本日の会議で通算4回目の会議となります。本日の議題は6月20日に開催されました、学校給食運営審議会起草部会により起草された答申起草案の審議となっております。

なお、審議が終了した後に、教育委員会に答申をいう予定でございます。

本日が最後の運営審議会となっておりますので、皆様からご忌憚のない意見を賜れば幸いです。宜しくお願いします。

それでは次第の3の(1)、答申起草案がまとまりましたので、私の方から皆様に読み上げたいと思います。

「答申書、第2学校給食共同調理場に係る建設計画及び運営方法について

本審議会は平成28年2月19日に苫小牧市教育委員会委員長より諮問を受け、第2学校給食共同調理場に係る建設計画及び運営方法について、本市の学校給食の現状や実施状況などを参考に今日まで4回にわたり活発な意見を交換し、検討してまいりましたが、本審議会としての意見がまとまりましたので、その結果を別紙のとおり答申いたします。

1 第2学校給食共同調理場の更新整備にあたり、美原地区への移転改築について

- (1) 安心・安全な給食を提供するためには、安定した配送ルート確保が必要であり、当該地区は現状の受配校に対して配送ルートや配送時間に大幅な変更が生じないことから、適地と判断する。
- (2) 食材の安全性の確保、衛生管理の徹底及び献立の充実が図られる調理設備等を導入し、さらに時代に即したアレルギー対応食や和え物食の提供、そして食育等の多様なニーズに答えられる施設整備を検討されたい。

2 第2学校給食共同調理場の効率的な運営方法について

第2学校給食共同調理場の効率的な運営方法については、給食調理員等の確保や設備の老朽化という大きな課題に対し、学校給食の安全性を確保した上で、給食調理の質の向上及び効率性に資する運営を検討されたい。

そのためには大量調理の実績をもつ事業所のノウハウを最大限活用することも、非常に有効であると判断する。」

以上が、起草部会で起草されました答申案となります。

この答申案につきまして、意見をいただきたいと思います。

何かご質問、ご意見はございませんでしょうか

(委員)

アレルギー対応食に関連するのですが、第2給食共同調理場の設計の時

に関わってくると思いご質問だったんですが、今日の給食は背割コッペパンに焼きそばを挟むものでした。

背割りコッペパンに何か挟んだりとか、バーガーパンにおかずを挟んでハンバーガーにするとか、今の現状は食パンで対応している状態ですか。

(事務局)

今日の背割りパンは、冷凍フォカッチャと言って長方形のパンで、それを半分に切って、学年ごとに変えて切れ目を入れ焼きそばを挟むものにしていきます。

ハンバーガーの時は丸いパンがあって、切れ目を入れて挟んでいます。

(委員)

以前食器は同じものを使っていて、洗浄乾燥も一緒にいっているということでしたが、代替食を入れる専用のサーモや付随する容器も一緒に洗浄を今でもしているんですか。

(事務局)

一緒に洗っています。

(委員)

モデル校の調査において、卵アレルギー360数名のうち、実際に給食を食べられない子が128名ということであれば、約半分を第2でも作るとしてきちんとした形でコンタミンのないアレルギールームのようなものが必要になると思います。

(事務局)

設計の段階でどこまで造れるのかは未知数ですが、当然考えていかなければならないと思います。

(委員)

パンであれば卵なしのもの、代替食とかも専用の容器も扱うことからアレルギールームを用意することにより、アレルギールームから直接コンテナへ運べるようなものになると、コンタミンの心配がなくなると思います。

(事務局)

まだ、そこまで先に考えてはいなかったのですが、まず予算の確保を第1目標にして、これからどのようなものを考えていくのかという、今スタート地点にやっと立ったわけですので、今後のことは皆様の意見も参考にしていきたいです。

また、他市の状況も参考にしていきたいです。

(委員)

アレルギーの希望者が少ないと前から言ってましたが、ハード面では今は第1給食調理場の機能が100%でないとと言われてましたから、第2も規模は小さいからここまでしかできないということにならないで欲しいと思います。

今の情勢に対応したものにしたい。

(事務局)

答申にも記載はありますが、時代の即したものでニーズに合ったものを考えていきたい。

(委員)

魚のアレルギーも最近多いと、母親達からも聞いているので、多くの人に対するものが必要となってなりますが、対応しやすいものから取組んでいくのがいいと思います。

(委員)

答申の中の「時代に即した～」という文言に尽きますが、私も期待しているんですが、今言われたとおりより沢山の子ども達に受け入れられる給食であって欲しいですね。

あとは現実的な問題も絡んでくると思いますが。

設計の段階で私達もどこまで入れるかわかりませんが、途中でも意見を言う機会があれば行っていきたい。

アレルギーの分野はなかなかやっかいですね。

設備が変わらないと何も変わらないと思いますので、前向きに進めて欲しいと思います。

(事務局)

第1と第2でバランスが悪くならないように考えていきたいと思ひます。
食育は大切なものですから、中途半端な施設になつては残念です。

(委員)

他に何かありませんか。

無ければ答申内容はこの形で行いたいと思ひます。

(以下 木村会長より答申)

第2学校給食共同調理場に係る建設計画及び運営方法について、答申。

苫小牧市教育委員会 様

本審議会は平成28年2月19日に苫小牧市教育委員会委員長より諮問を受け、第2学校給食共同調理場に係る建設計画及び運営方法について、本市の学校給食の現状や実施状況などを参考に今日まで4回にわたり活発な意見を交換し、検討してまいりましたが、本審議会としての意見がまとまりましたので、その結果を答申いたします。

1 第2学校給食共同調理場の更新整備にあたり、美原地区への移転改築について

- (1) 安心・安全な給食を提供するためには、安定した配送ルートの確保が必要であり、当該地区は現状の受配校に対して配送ルートや配送時間に大幅な変更が生じないことから、適地と判断する。
- (2) 食材の安全性の確保、衛生管理の徹底及び献立の充実が図られる調理設備等を導入し、さらに時代に即したアレルギー対応食や和え物食の提供、そして食育等の多様なニーズに答えられる施設整備を検討されたい。

2 第2学校給食共同調理場の効率的な運営方法について

第2学校給食共同調理場の効率的な運営方法については、給食調理員等の確保や設備の老朽化という大きな課題に対し、学校給食の安全性を確保した上で、給食調理の質の向上及び効率性に資する運営を検討されたい。

そのためには大量調理の実績をもつ事業所のノウハウを最大限活用することも、非常に有効であると判断する。

宜しくお願い致します。

(教育長)

謹んでお受けいたします。

審議委員の皆様には、これまで長きにわたり活発に議論を重ね、貴重なご意見をいただき、本日は答申をいただくことができました。今後は答申内容を踏まえ、本市の給食行政に活かしていきたいと考えております。

ありがとうございました。

(司会)

木村会長、審議委員の皆様、ご多忙の中これまで審議にご協力いただき誠に有難うございました。

本日の運営審議会はこれで終了いたします。